



## 大和証券、社内伝票・申請書の電子化に Adobe LiveCycle Enterprise Suite2 を採用

### 第一弾として、経費申請を 3 月から完全電子化

#### 【2010 年 3 月 25 日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：クレイグ ティーゲル、以下 アドビシステムズ）は、大和証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 茂晴、以下 大和証券）が伝票や申請書の電子化を目的に、アドビシステムズの Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite2 (ES2) を採用したことを発表しました。大和証券は、従来よりペーパーレス化を推進しており、今回の LiveCycle ES2 の利用もその一環で、第一弾として経費申請事務への適用を開始しました。

大和証券は、環境への配慮および事務効率化のためのペーパーレス化とシステムの簡素化を目的として電子化を進めています。従来の経費申請事務では、紙伝票からオンライン画面への入力と照合、付随する配送・保管事務等、多くのプロセスが介在する非効率な状況になっていました。そこで大和証券は、アドビシステムズの LiveCycle ES2 の特長であるオープンな Flash® Platform と PDF との統合が可能な優れた機能を活用し、経費申請の PDF フォームをそのまま入力フォームとして使用、さらに保存できるようにしました。これにより、入力用、参照用、保存用と一貫したフォームを使うことができるようになると共に、メンテナンス性も向上しました。今後、大和証券では、事務効率が大幅に改善されることを期待しています。

大和証券は、今後も社内の伝票・申請書類をすべて電子化し、単に業務効率の向上やコスト削減だけでなく、顧客へのサービス向上、コミュニケーションの強化をも視野にいれた革新的な取り組みを推進していく方針です。

アドビシステムズの LiveCycle ES2 は、要件に応じてモジュールを組み合わせ、人とシステムを柔軟に結びつける、利用者視点の業務アプリケーションを構成できるのが特長です。今回、大和証券が採用したアドビシステムズの LiveCycle ES2 は、以下のとおりです。

LiveCycle Reader Extension ES2： PDF 文書を入力フォームとして活用

LiveCycle Forms ES2： PDF や対話画面からの入力データと社内システムを連携

LiveCycle Process Management ES2：企業の業務プロセスを効率化

### **Adobe LiveCycle Enterprise Suite 2 について**

Adobe LiveCycle Enterprise Suite 2 は、利用者視点の業務アプリケーションを実現します。RIA（リッチインターネットアプリケーション）などの直観的なユーザー体験の提供、ばらばらなシステムや業務をつなぐビジネスプロセスの自動化、顧客や利用者とのやり取りを効率化するコミュニケーション管理により、顧客満足度や従業員の生産性を高め、システム統合コストを削減し、企業や組織の業務プロセスを革新します。

### **アドビシステムズ社について**

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。